

平成29年度 志教育全体計画

宮城県石巻高等学校

校訓
真実 自律 友愛

生徒心得綱領 1 強健ナル心身ヲ養ヒ以テ自我ノ発展ニ努ムベシ 2 至誠一貫勤勉力行事ニ當リテ倦ムコトナキヲ要ス 3 質実剛健進取独創自ラ進運ヲ開拓スベシ		教育方針 1 あらゆる指導を通して、高い英知と豊かな情操と不屈の意志を形成し、高朗爽快な気風を醸成する。 2 教科指導を徹底し、自主的な学習意欲と考案心を喚起し、学習の充実を図る。 3 信頼と友愛による人間関係を確立し、公德心および自己尊重の精神を涵養する。	
教師の願い 心身ともに健康で、目的意識を有し、主体的に努力して社会に貢献できる生徒になって欲しい。 相互に尊敬し切磋琢磨しながら、高い学力を身につけ進路希望を達成して欲しい。		保護者や地域の願い 生徒の持つ高い資質と可能性を広げ、進路目標を実現させて欲しい。 学業はもちろん、豊かな人間性と確かな判断力を養い、社会で活躍して欲しい。	
生徒の実態 高い資質と能力を有し、素直で真面目である。 大学進学を目指し、勉学や部活動等に熱心に励んでいる。			

『志教育』の目標

- ・尊敬と信頼に満ちた人間関係を構築し、より高い品格と強い信念を養う
- ・真理探究と自己実現のための自習自学、至誠勤勉を貫く姿勢を培う
- ・広い視野を持ち、雄健進取の気性を備え、社会の向上に貢献する人間となる

重点指導事項

人と『かかわる』 様々な人とのかかわりを通して、他者の価値観や個性を理解するとともに、自己理解を深化させ、集団や組織の中でよりよい人間関係を築く力や社会性を養い、適切なコミュニケーションを図ることができるようにする。	よりよい生き方を『もとめる』 進路学習等を通して、自らの興味関心・適性を理解させるとともに、目標とすべき将来の職業や社会で果たすべき役割について考えさせ、それを表現させるために積極的、意欲的に取り組ませる。	社会での役割を『はたす』 HR活動や学校行事などの特別活動において、集団における自分の役割を自覚して他者に接し、互いに個々の能力を引き出しながら、社会の一員として自己を生かす生き方についての考えを深めさせる。
--	---	--

各教育活動における取組の観点		各学年の取組内容	
各教科 知的好奇心を高め、ゆるぎない向上心を培い、能動的学習姿勢の定着を目指す。 学習分野における基本的な知識理解にとどまらず、学習において得た知識、技能等を活用し、課題解決に役立てる能力を育成する。		1 学年 石高生として、学習と部活動の両立を図れるよう学習記録簿により計画を立てて、主体的に生活できるように指導する。 東北大学オープンキャンパスに参加して上級学校の雰囲気味わう。さらに、職業講話や大学模擬講義、習熟等を通して社会が抱える課題の発見や、その様々な解決方法決定のプロセスを紹介し、自己を生かせる生き方や希望進路を具体的に検討できる資質を身につけさせる。	
道徳 知・徳・体の調和のとれた人間を目指し、社会を生き抜くたくましい精神力を育成する。 高い志を持ち、自らの人生を主体的に切り拓く、たくましい人間を育成する。 学校行事等特別活動に積極的に参加し、友情をはぐくむなど豊かな人間関係を構築する。 生命尊重の精神に基づき、安全で安心な学校づくりと心の教育を推進する。		2 学年 中堅学年として、学習記録簿を利用して計画的な生活を送り、部活動との両立を実現する。 進路学習等を通して希望進路の方向性を付けられるよう指導するとともに、総合的、現実的な理解に基づいて将来設計をし、希望進路実現を目指して自己課題を設定させ、その解決に取り組ませる。	
総合的な学習の時間 自己の在り方や生き方について考え、総合的学力の向上や探究的姿勢の育成を図るための自己研鑽能力や、自己表現能力を育成する。 自ら選択した領域において、課題を発見・考察し、問題を解決する能力を養う。		3 学年 高校生活の仕上げとして、学ぶこと、働くことの意義、役割や多様性への理解を深化させ、自らの将来設計へつなげられるように指導する。 進路学習を通して将来の自分の生き方を明確にし、大学見学会等に積極的に参加することで、希望進路を確定し、粘り強く取り組むことで実現できるように指導する。	
特別活動 石高生として、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として自主的実践的な態度を育てるとともに、人間としてのあり方生き方についての自覚を深め、自らの力を活かす能力を養う。			
その他 「知育・徳育・体育の完全並進」を校是とし、部活動を奨励し、ひとつに偏ることなく、調和のとれた人格形成を目指す。 健やかな心身を養うため、健康の自己管理に留意し実践できる能力を養い、規範的意識を育む日常生活を重視し、自他の生命を尊重する態度を育成する。			

家庭との連携 PTA活動や学校評価、授業公開などの機会を通して情報を共有し、生徒の希望実現のために信頼関係を育む。	地域・企業との協働 習熟塾、職業講話などの機会や、生徒会・部活動、交通安全運動、ボランティア活動など、校外の人たちと交流することで社会人としての基盤を作る。
---	--

平成29年度 石巻高等学校 「志教育」 年間指導計画

3つの視点		かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	
各教科指導目標	国語		○	○	地理歴史		○	公民		○	数学		○	理科		○	
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	家庭	○	○	情報	○	○	
	文章読解や表現活動を通して、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自己を尊重しながら主体的に生きようとする態度を育てる。				我が国及び世界各国の歴史および文化を学ぶことで異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような資質を養う。			現代社会の仕組みを考察し、先哲の思想を取り入れながら他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			数学的活動を通して数学的な見方や考え方の重要性を認識させ、数学的に考察して表現する能力を高め、数学的根拠に基づいて判断し、問題を解決する能力を育成する。			科学的な自然観を身につけることにより、自然と人間との密接な関わりを探究し、課題を主体的に考察し、表現する能力を育成する。			
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。				芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、豊かな情操を養う。			外国語を通じて、外国の文化や人々に対する関心を深めると共に、進んでコミュニケーションを図ろうとする姿勢や、情報や考えを適切に伝える能力を養う。			家庭科の体験的学習を通して人とかかわることの大切さを学ぶ。家庭と社会の関連性の中に自身の役割を見だし、実践する能力を身につける。			複雑化、多様化する情報社会で、日常の情報理解との対照で、情報モラルの理解を深め、主体的判断力を育成し、情報技術、情報リテラシーなどの基本的知識と技能を身につける。			

各学年 年間指導目標及び共通重点指導内容

各学年 年間指導目標及び共通重点指導内容		3つの視点					
1年	2年	3年	かかわる	もつめる	はたす		
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境の中で自己理解を深化させる共に、価値観の相違を理解して良好な人間関係を構築する。 ・自己の向上のために、計画的に学習し、積極的に部活動に取り組む。 ・様々な機会を通して、自己の生き方や希望進路を現実的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での自分の役割を自覚し、主体的生活を送る。 ・自己理解の深化に基づいた具体的な将来設計をする。 ・進路希望実現のための自己課題を設定し、その解決に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己実現に向け、校内外の諸活動に積極的に取り組む姿勢を養う。 ・将来の自分の生き方を明確にして、その実現に向けて行動する。 ・学ぶこと、働くことの意義や、役割や多様性への理解を深化し、進路を決定する。 	共通重点指導内容	① 探究心、向学心の醸成	○	◎	○
				② 挨拶の励行	◎	○	○
				③ 品位と節度ある行動の確立	○	○	◎
				④ 健康で安全な学校生活のための環境づくりの徹底	○	○	◎
				⑤ 特別活動等への積極参加奨励	○	○	◎

指導内容	ねらい	指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もつめる	はたす	
共通	生徒総会	集団の一員として、よりよい学校づくりに参画する。	特別活動	5月・11月	2	○	◎	◎
	鰯陵総体	集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養を図ると共に、協働意識の高揚と、自主的、自発的行動力の涵養を図る。	特別活動	6月	12	◎	○	◎
	鰯陵文化祭	日頃の活動成果を総合的に発表し、文化・芸術に親しむ。	特別活動	8月	12	◎	○	◎
	美化活動	美化活動を通し、社会奉仕の精神を養う。	特別活動	5月・12月	2	○	○	◎
1年	新入生オリエンテーション	学校生活への適応を図る。	学年行事	4月	6	◎	◎	
	進路ガイダンス	自己の適性を理解し、進路意識を喚起させる。	総合学習	4月	1	○	◎	
	小論文実習	自分の考えを他者に理解できるように論理的表現力を養う。	総合学習	7月・1月	6		○	◎
	読書会	読書を通して視野を広げ、また意見・感想発表により相互理解を深める。	特別活動	5月・11月	2	○	◎	○
	大学見学会	実際の大学を見学することで、進路意識の高揚に役立つ。	総合学習	7月	7	○	◎	○
	大学模擬講義	情報を収集を通して、学問と職業の関連性を探究する。	総合学習	10月	2	○	◎	
	職業講話	職業に関する理解を深め、勤労観、職業観を育成する。	総合学習	11月	2	○	◎	
	鰯陵塾	同窓生の話を聞くことにより、自分の将来や生き方への意識高揚へとつなげる。	総合学習	1月	2	○	◎	
	職業研究発表会	職業に関する理解を深めるとともに、プレゼンテーション能力を育成する。	総合学習	2月	2	○	○	◎
	ライフプラン作成	将来の生き方や職業について、自己の意識を深化させる。	総合学習	2月	2		○	◎
小論文講演会	自ら学ぶ目的を見出し、課題を論理的に考え、解決できる能力を養う。	総合学習	3月	2	○	◎		
2年	進路ガイダンス	進路意識を高め、将来設計の具体化を図る。	総合学習	4月	1	○	◎	
	分野別学習	様々な分野の学習に取り組み、問題解決のための能力を養う。	総合学習	4~2月	12	○	◎	◎
	小論文実習	自分の考えを他者に理解できるように論理的表現力を養う。	総合学習	7月・1月	6		○	◎
	読書会	読書を通して視野を広げ、また意見・感想発表により相互理解を深める。	特別活動	5月・11月	2	○	◎	○
	進路講話	主体的に進路を選択する能力・態度を育てる。	総合学習	10月	1	○	◎	
	大学模擬講義	学問、学科内容についての理解を深め、進路目標の具体化を図る。	総合学習	10月	2	○	◎	
	学問研究発表会	学問、学科内容についての理解を深め、プレゼンテーション能力を育成する。	総合学習	7月	2	○	○	◎
	鰯陵塾	社会人としての価値観、職業観を通し、自己の人生観の育成を図る。	総合学習	1月	2	○	◎	
	ライフプラン作成	将来の生き方や職業について、自己の意識を深化させる。	総合学習	2月	2		○	◎
小論文講演会	自ら学ぶ目的を見出し、課題を論理的に考え、解決できる能力を養う。	総合学習	3月	2	○	◎		
3年	進路ガイダンス	具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。	総合学習	4月	1	○	○	
	読書会	読書を通して視野を広げ、また意見・感想発表により相互理解を深める。	特別活動	5月	1	○	◎	○
	進路講話	進路実現に向けた意識の高揚と、学ぶことへの意欲を養う。	総合学習	7・1月	4	○	◎	
	進路研究	将来の在り方や生き方を整理し、進路目標の具体化を図る。	総合学習	4~1月	6		○	◎
	進路実現学習	課題に取り組み、進路目標達成のための実力を養成する。	総合学習	4~1月	6		◎	◎
	進路別ガイダンス	進路目標に合わせた具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。	総合学習	5~1月	8	○	◎	